

APU2030ビジョン



APUで学んだ人たちが世界を変える。

この多文化が共生する国際社会には多様な価値観が存在し、対立や摩擦が否応なく生じる。異なる文化と価値観の違いを認めて理解し合い、自由で平和な世界を築く「世界市民」を育成する。これが、APUの目指す「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」という理念の核心である。

APUで学んだ一人一人が、自由と平和を追求する人間として、人間の尊厳に対する畏敬の念を抱き、世界で、日本で、それぞれの住む地域や立場で、他者のために、社会のために行動することにより、世界が変わる。

APUで育つ「世界を変える」人とは

- 他者と協働し、対話を軸に対立を乗り越え、社会に影響を与えることができる。
- 異なる文化との衝突や遭遇したことのない困難への耐性がある。
- 多様な視点やアイデアから、新しい価値を創造することができる。
- 自分自身のゴールを描き、生涯学び成長し続けることができる。

「世界を変える」人を育てるためにAPUは

- 比類ない多国籍・多文化環境を活かして、世界市民として成長するための学習や活動の機会及び生活環境を提供し、世界に誇るグローバル・ラーニング・コミュニティを創成する。
- 教育・研究の質を絶え間なく向上させ、世界で通用する新たなグローバル・ラーニングの価値を創造する。
- APUの財産である世界中の卒業生や地域社会のステークホルダーとのつながりを深化させ、教育活動や大学運営で協働する。



—APUは世界に誇れるグローバル・ラーニング・コミュニティを構築し、そこで学んだ人たちが世界を変える。

※APU HPより抜粋

APUの展望 (APU2030ビジョン)

「APUで学んだ人たちが世界を変える。」って？

抽象的な表現となるが、
APU2030が目指すところはダイバーシティ・インクルーシブなキャンパスが生み出す
InnovationやEntrepreneurship・企業家精神を基盤に、
多様なキャリアを世界的に展開していくダイナズムであり、
その結果、世界の様々な地域が内包する
貧困・不平等・環境・福祉・教育・産業・経済・差別などの諸課題が、
APUの理念の下、
解決されていく事である。

それが「世界を変える」というビジョンである

「グローバル・ラーニング・コミュニティ」って？

多様化が進んだ学生構成を基盤として、
「世界を変える人」のロールモデルである校友、及び、
世界中で展開される地域社会との連携により展開される教育基盤。

★多様化が進んだ・・・

2024年までに留学生出身国・地域を100カ国・地域へと拡大する(現在90カ国)
特にIMA エリア(India, Middle-East, Africa)

★地域社会との連携・・・

別府・日本の組織・会社だけでなく、海外の現地社会も含む。
また国内においては、首都圏の高大連携校の拡充とプログラム強化を目指す。
(先進的な教育改革を進める教育機関、SDGsを含め環境教育を推進する団体など)

背景にある課題

課題① より複雑化する社会

APU2030のゴールである2030年に「世界を変える人」が挑戦するのは、より混沌とした国際社会であり、より多様な国際社会のアクターが交錯する社会である事。

よりリアルな国際化対応、高学歴化への対応、世界の経済成長を取り込む教学展開

課題② グローバリゼーションの後退

新型コロナの影響もあり、反グローバリゼーションの台頭・ブロック化の動き、またそれらの国際情勢を受けた社会の様々な層による排他的な動き。

世界はそうかもしれないが、私たちは協調していく

課題③ 時代背景の変化

日本

- A)18歳人口の減少 2020年まで120万人横ばい→2030年100万人→2040年88万
- B)進む高齢化 65歳以上 2020年28.9%→2030年31.6%
- C)人材不足 2030年 必要な人材7,073万人→確保6,429万人 (▲644万人)
- D)日本のプレゼンス低下 IT人材不足 2030年 必要な人材 193万人→確保113万人 (▲79万人)
人材不足業界 航空(パイロット)、IT、観光、介護

世界

- A)世界的に人口は増える 2015年73億人→2030年85億人
 - B)新興国が世界経済の中心に。欧米中心から新興国へ。
 - C)2050年の15歳未満人口の変化 2050年のGDPランキング予測
- | | |
|----------|--------|
| 1)中国 | 5)ブラジル |
| 2)インド | 6)ロシア |
| 3)アメリカ | 7)メキシコ |
| 4)インドネシア | 8)日本 |

2050年の15歳未満人口 (対2000年)

アメリカ (125%)	ナイジェリア (252%)
日本 (51%)	ケニア (226%)
インド (88%)	
中国 (54%)	

開学以来APUが取ってきた日本企業への就職促進を中心とするのではなく、国際的な社会で活躍できるキャリアへとつながる施策の展開が必要。

APUの展望 (APU2030ビジョン)

6つのアクションプラン

Action Plan ①

多様性/他文化から Diversity & Inclusionへ、
新たな成長の追求および創造的かつ
国際競争力のあるAPU教育の創出

新学部「観光・持続開発系新学部」従来の APSはマクロ、新学部はミクロな視点。
「教学新棟建設(アクティブラーニング加速)」「APハウス3」建設
日本人学生希望者全員入寮 全世界から学生を集める (India Middle East, Africa)
国際学生がマジョリティとなり、多国籍教職員がマネジメントする大学

Action Plan ②

社会・地域に貢献する国際通用性のある研究の推進

Scopus収録ジャーナル等への掲載数を増やす
国際共著論文比率、3位→1位を目指す
国際的なAPU教員の研究ネットワークの活用

Action Plan ③

世界各地で展開される地域社会への貢献
(大学を中核とした民官学の
新たな地域発展モデルの創出)

学外(社会・地域等)との連携を支援・統括するセンターの構築
学生や教職員が世界中の地域やフィールドで研究や社会活動ができる体制作り

Action Plan ④

世界で活躍し貢献できる
多様なライフスパン・キャリアの強化

多様な国際的キャリアの実現
国際機関キャリア・海外大学院進学・起業家や社会起業家
各種キャリアにおける世界で活躍する APU校友との連携

Action Plan ⑤

グローバルリーダーとして世界を変える
卒業生組織・卒業生ネットワークの高度化

国・地域単位だけでなく、分野ごとのネットワーク作り
ヨーロッパCPTのUNキャリアセミナー・ウーマン atIT キャリアを考えるキッカケに
起業家が集まるスタートアップ・ファンダーズ。研究者や大学教員のグループ「REN」
仕事や属性や共通する興味関心のグループが増える
校友間のビジネスマッチング支援 卒業生の生涯学習支援
各チャプターの国際アドミッションへの協力体制

Action Plan ⑥

Global Learning Communityを支える
組織・基盤の構築

グローバルに通用するガバナンスの推進 外国籍教員の大学運営への参画
教職員の能力向上を支える制度整備 国際標準の職員組織

APU2030の工程表 (~2023)

①抜粋・要約版
②Action Plan⑥に関する記述は割愛(予算・事務スタッフ寄りのため)

Action Plan	チャレンジデザインの課題領域	政策	2021	2022	2023
Action Plan①	多様性・多文化環境から Diversity&Inclusionへ、新たな成長の追求及国際競争力のあるAPU教育の創出	新学部設置	●文部科学省への申請	●解説準備	● 新学部開設
		既存学部 APM・APS改革	●次期カリキュラム検討 ●「ベンチャーアントレプレナーシップ」開講	●教学改革準備	● カリキュラム改革実施
		新棟建設	●基本計画、設計の確定	●工事と広報	● 新棟供用開始
		アドミッションの強化	●AOスタッフ・海外事務所・ 校友との連携強化 ・企画充実 ●附属校・提携校との連携強化 ● 首都圏在住の校友のネットワーク強化及び、校友が生涯学び続ける仕組みの構築		
Action Plan②	社会・地域に貢献する国際通用性のある研究の推進	計画の策定と実行	●戦略的な研究強化分野の指定 ●国際共同研究の成果の現状把握・分析 ●研究強化政策による博士(後期)過程学生の研究力向上	●研究高度化政策の確定・開始 ●戦略的強化分野の強化具体策の策定	● 戦略的強化分野政策の本格実施 ● 研究専念教員の選定・任用
Action Plan③	世界各地で展開する地域社会の成長への貢献	学外連携の一体化・強化	●学外連携センター拠点の目標、役割、組織形態策定 ●大分県との戦略的協働の協議、戦略的提携企業の選定	●学外連携のセンター・拠点構想策定	● 学外連携センターの設置
Action Plan④	多様なライフスパン・キャリアの強化	非従来型キャリアの展開強化	●進路就職委員会の下に支援推進体制を設置 ●2022-2025年度の目標設定	●新たなキャリア支援政策の実施	
Action Plan⑤	卒業生組織・卒業生ネットワークの高度化	校友政策	●校友会海外チャプターの拡充と連携強化(校友情報のアップデートの強化、国際アドミッションとの連携強化) ●校友対象のサービス具体化案策定(life long learningプログラムなど) ●分野別の校友組織の拡充と在学生	①新たな校友政策の策定 ②校友会対象新サービスの志向	● 校友対象新サービス開始

立命館大学校友会とR2030

一番近い、お隣さん。
立命館大学校友会(※以下RU校友会)

RU校友会情報(2019年時点)

- 設立 1919年
- 校友数 361,874名
- 都道府県校友会 52チャプター
- 海外校友会 32チャプター
- 学部・学系校友会 21グループ
- その他グループ 601グループ

APU校友会(参考)

- 2003年
- 20,060名
- 10チャプター
- 27チャプター
- なし
- 4グループ

立命館大学とは...

121年の歴史、16の学部、32,467名の在学生

(参考)APUの在学生数 5,665名

衣笠キャンパス@京都

- 法学部
- 産業社会学部
- 文学部
- 映像学部
- 国際関係学部

びわこ・くさつキャンパス@滋賀

- 経済学部
- 理工学部
- スポーツ健康科学部
- 食マネジメント学部
- 情報理工学部
- 生命科学部
- 薬学部

いばらきキャンパス@大阪

- 経営学部
- 政策科学部
- 総合心理学部
- グローバル教養学部

R2030 立命館の学園ビジョンR2030

挑戦をもっと自由に

「挑戦をもっと自由に」

あらゆる人の自由な挑戦が希望に満ちた未来に繋がる社会を目指して

ポイント①ナレッジノード戦略

大学が「知のノード」のハブとなり、学内だけでなく学外の様々な協力団体と連携を深めていくことで、新たな価値創造の場となるAPUも、その中の一つに関わってくる

ポイント②キャンパスの特色化

↳衣笠:デザイン・アート分野

↳OIC:ソーシャルコネクティッドキャンパス

デジタルクリエイティブ分野

↳BKC:理系分野の教学機関の創設

各キャンパスの学部構成を組み換えることで、テーマに沿った人材を集約
新しい価値創造のきっかけを生まれやすくする

ポイント③R2030の目標

2030年にQS世界大学ランキング200位代

2021年度 総合順位 751-800位